

令和4年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会岩手県予選会 連絡事項

1 大会期日・会場について

期 日 令和4年7月23日(土)～7月24日(日)2日間
会 場 盛岡市渋民運動公園総合体育館(A・Bコート)
〒028-4135 盛岡市川崎字川崎1-1(電話 019-683-1636)

2 受 付 7月23日(土)各チームの試合設定時刻30分前から本部席にて受け付ける。

3 開会式について

新型コロナウイルス感染症予防対策として、実施しない。

4 閉会式・表彰について

閉会式は行わない。表彰については、1位～3位までをコート表彰する。

5 開館からのタイムテーブルは下記の通りとする。

	会 場	開 館	コート開放	第1試合開始
7月23日(土)・24日(日)	渋民運動公園総合体育館	8:30	9:00	9:30

第2試合以降のチームは、試合設定時刻の60分前から会場への入場を認める。

6 コートアシスタントについて

各チームにコートアシスタント(ラインジャッジ・点示)の協力をお願いします。

7月23日(土)

第1試合は、第2試合の両チームから3名ずつ(Aコート:RIVAL 釜石・盛岡南高等学校、Bコート:盛岡第二高等学校・WINDS 盛岡)をお願いします。

第2試合以降は、前試合の敗者チームから6名をお願いします。

7月24日(日)

第1試合は、第2試合の両チームから3名ずつをお願いします。

第2試合以降は、前試合の敗者チームから6名をお願いします。

7 競技上のお願い

- (1) 随行審判員は、23日(土)9:00から打合せを行います。試合順と関係なく割当がありますので必ず全チーム集合してください。
- (2) 各試合、試合設定時刻の30分前までに構成メンバー表を、本部席に提出すること。
- (3) ベンチスタッフは統一された服装で、襟付きのものを着用すること。Tシャツ等の襟の無いものや、短パン・ハーフパンツ等は認めない。
- (4) 気象状況により給水の為のタイムアウトを適用する場合がある。また、気温が高い時は試合間で館内換気をすることがある。

8 その他

- (1) 喫煙・飲食は指定された場所のみで行い、ごみ等はチームで責任を持ってお持ち帰りください。
- (2) 大会に関する問い合わせ

田中 基 (岩手県バレーボール協会理事長)

〒020-0133 盛岡市みたけ4-11-55 2号

岩手県バレーボール協会事務局

電話:019 645 6647 FAX:019 613 3705

携帯:070 8426 1273

令和4年度 天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会岩手県予選会
感染症防止対策についての連絡事項

- (1) 今大会は無観客開催とし、会場への立ち入りは以下の者のみとする。
選手・チームスタッフ・エントリー以外のチームメンバー
大会役員（審判員・運営に関わる競技役員など）
- (2) 入館の際はチームごとにまとめて入場すること。その際、健康観察チェックシートの提出をすること。チェックシートに記載されている内容をもとに人数確認を行う。また、入館の際に、必要に応じて検温を行うこともある。チェックシートを提出しなければ館内へ入場できない。
チームの入場は当該試合の時間帯のみとする。ただし、1日に複数の試合がある場合は、会場で待機することができる。その際は密集を避けるように注意すること。待機場所はギャラリーまたは多目的ルームとする。
- (3) 館内は原則として常時マスク着用とする。また、手洗い、手指消毒などの基本的な感染症対策をこまめに行うこと。
- (4) 試合中も、コートでプレーしている選手以外は常時マスクを着用し、ベンチでは極力座席を空けること。なお、アップゾーンを使用できるのは、試合に出場している選手のみとし、その他の控え選手はベンチに着席すること。また、ベンチ・アップゾーン・ギャラリーから声を出しての応援は出来ない。
- (5) 審判員は飛沫防止対策としてホイッスルカバーを装着するか、マスクの下にホイッスルを装備すること。ホイッスルカバーの使用については以下のとおりとする。
 - ・マスクの口元にホイッスルを咥える分の切れ込みを作り、その切れ込み個所へホイッスルカバーをしたホイッスルを差し込み咥える。
 - ・切れ込みを作ったマスクは試合中のみ使用可能とし、試合終了後は普通のマスクを装着すること。
- (6) メンバーチェンジの際はナンバーパドルの使用はしない。
- (7) 試合前後の選手同士及びチームキャプテンからの審判員への握手は行わない。
- (8) ボール等の競技用具の消毒は試合終了ごとに競技委員が行う。ベンチについては、チームに消毒作業の協力をお願いするので、消毒作業に必要な物品（消毒液、除菌シート等）は各チームで準備・持参すること。ベンチの消毒については、コートチェンジ時と試合終了後に行うこと。コートチェンジはベンチの消毒を行ってから、審判の指示により行う。
- (9) チームの飲み物の空き容器等は、館内には置かずチームの責任として必ず持ち帰ること。また、アイシング等で使用した氷をトイレや洗面台に投棄しないこと。
- (10) チーム責任者は、参加する選手・スタッフの健康状態(検温・体調)を把握し、体調管理を徹底させること。
- (11) 陽性者または濃厚接触者となった場合、その選手は保健所の待機指示が解除になるまで大会への参加は認めない。
- (12) 大会当日、体調不良や発熱が疑われる場合は、該当者と他選手・スタッフを接触させないよう隔離し、該当者を速やかに医療機関に受診させること。チームは、保健所が濃厚接触者の範囲を確定するまで待機とし、確定後濃厚接触に該当しない選手は大会への参加ができる。保健所の確定が試合設定時刻を過ぎた場合は棄権扱いとする。

大会に関する問い合わせ先

責任者 田中 基（岩手県バレーボール協会理事長）

〒020-0133 盛岡市みたけ4-11-55 2号

岩手県バレーボール協会事務局

電話：019 645 6647 FAX：019 613 3705

携帯：070 8426 1273

2022天皇杯・皇后杯審判上の確認事項

- 1 本大会は、2022年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則を適用する。
また、岩手県公認審判員以上の資格を有する随行者審判員制とする。
随行者審判員の審判割当ては、当該チームの試合を除いて試合順とは関係なく4試合目及び5試合目のチーム随行者審判員が、第1試合の割当になるなど順不同で全員に割当がありますので、注意願います。
- 2 ベンチスタッフ・選手は競技規則に精通し、これを遵守すること。
- 3 本大会は、3セットマッチの1ボール・システムとする。
- 4 公式ウォームアップは、両チーム併せて6分間、またはどちらかのキャプテンが相手チームとは別に(連続して)公式ウォームアップを要求した場合は、各3分間行うことができる。
- 5 公式ウォームアップ開始前に監督は、記録用紙の選手リストの中からリベロとして登録する選手の番号をリベロ選手欄に記入し、サインする。また、チームキャプテンは試合開始前と試合終了後にサインする。
- 6 各セット開始前に提出されたラインアップシートは、記録員が記録用紙に記入完了後の変更は認められない。
- 7 タイムアウトは、監督より要求される。監督が不在の場合はゲームキャプテンだけが要求できる。タイムアウトはボールがアウトオブプレーでサービスのホイッスルの前に、該当するハンドシグナルを示して要求しなければならない。
- 8 ナンバーパドルは使用しない。ブザーも使用しないので要求の受付は審判員の吹笛で行う。
- 9 チームが2組以上の選手交代を同時にしようとするときは、同一の要求とみなせるように、すべての交代選手が同時に選手交代ゾーンに入らなければならない。この場合、交代は1組ずつ連続して行われる。
- 10 監督は試合を妨げたり、遅らせたりしなければ、自チームベンチ前のアタックラインの延長線からウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で、立ちながらも歩きながらも指示を出すことができる。
- 11 チームの素晴らしいプレーに対して、ベンチの構成員が立ち上がってその喜びを表すような態度は罰則の対象とならない。しかし、競技役員、相手チーム、チームメイト、さらに観衆等に対する不法な行為は罰則の対象となる。
- 12 ユニフォームを着替えるときは、ゲームキャプテンが主審、または副審の許可を得てセット間に行う。ただし、同じデザインのユニフォームでなければならない。
- 13 試合の前は、選手14名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。試合終了後は、コート上の選手6名がエンドラインに整列し、主審のホイッスルで挨拶する。尚、監督、チームキャプテンは、主審、副審にも挨拶する。コロナ感染症対策として、握手は行わない。